



俳句

横山 容子 選

満潮の波に胸押す千の鴨
夜も更けて厨にひそとちろ鳴く
芋煮会伊予美人てふ芋入れて
もらひ湯の記憶の中の十三夜
コスモスに程良き風の有りにけり

伊藤 梶子
日野 貞子
野口 八千代
青野 良子

川柳

平尾 忠文 選

彼岸花かたまつて燃え凜と立つ
耳すまし聞く虫の音のハーモニ
一心に鳴くこほろぎの誰を呼ぶ

国田 ヤエ子
近藤 佐由利
山本 雅一
藤原 博

レジ係愛想よい娘へ足が向く
お金よりストレス溜め生き方を
時を越え想い出綴る遠思橋
英会話舌かみそうなぼけ防止
叱つても五体応えぬ八十路坂
父の杖なつて支えて敬老日
月参り帰日も楽しお茶囲む
初茄子摘みとり妻の得意顔

木原 恵美子
近藤 忠夫
三好 清信
近藤 佐由利
尾崎 康博
藤原 博
永井 幸
真鍋 正利

短歌

藤田 虎雄 選

凌霄花^{のうぜんかずら}咲けば思はる花の下を飛び石づたひ
に訪ひし友かな^{さるすべり}
ほろほろと散る百日紅^{さるすべり} 火事の折り如何に耐
へしや尋ねてみたし^{すいふよう} 月岡啓子
醉芙蓉^{うすべに} 白 淡紅^{うすべに} 紅と変りつつ一夜花とは
淋しくあわれ 高橋 トシ子
咲く時をしかと覚えし彼岸花 猛暑のあとも
足並み揃え 元山 莊一郎
草引けば蟻塚 蟻は大騒ぎぶつかり合ひつつ
西へ東へ 川原 利代
家ごとの石垣のみが遺る^{のこ}地の藪に^{やぶ}零余子の^{むか}た
わねに実る 佐伯 利枝
こんなにも日に焼けし娘嫁ぎゆく えくぼが
二つ母親に似て かん のぶこ
満月よ『ごん』を想ひて本を置くそんな私も
優しく照らせ 近藤 佐由利

俳句・川柳・短歌 作品募集

作品は読みやすい書体（楷書等）で作成し、
俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりが
なを振り、住所・氏名・電話番号を明記し、毎
月1日までに担当課へ郵送・持参してください。

応募先

〒793-8601 明屋敷164
西条市役所 広報広聴課 広報係
TEL 0897-5211204（直通）



フエウオッチング

フエからダナンへ向かう途中にあるランコー（Lang Co）村。鳴き砂の美しい白浜が続く、最近、密かに人気のリゾート地です。

さて、そんなランコーでは、瓶に入った黄色や透明の液体が路上で売られている光景を目にします。ヤウ・チャム（Dau Tram）と言われるその液体は、ランコー村の名産・ユーカリオイルです。

この周辺は、成長が早いユーカリやアカシアの人工林が目立ちます。そのほとんどは、パルプ原料に利用されます。そして、そのユーカリに含まれる精油には、抗菌作用や虫除け等の効果があります。ベトナムでは、特に出産後の女性や乳児のために利用するようです。

フエ市内から少し足を延ばし、静かで美しいランコービーチで波の音を楽しみ、お土産にユーカリオイル、ちょっぴり贅沢な休日をご過ごせそうですね。

（フエ市防災教育支援事業コーディネーター 中村範子）



▲美しい白浜が広がるランコービーチ